

Panasonic®

取扱説明書

オールインワンヘッドセット **業務用**

品番 **WX-CH457**



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



PUQX1042YA

はじめに

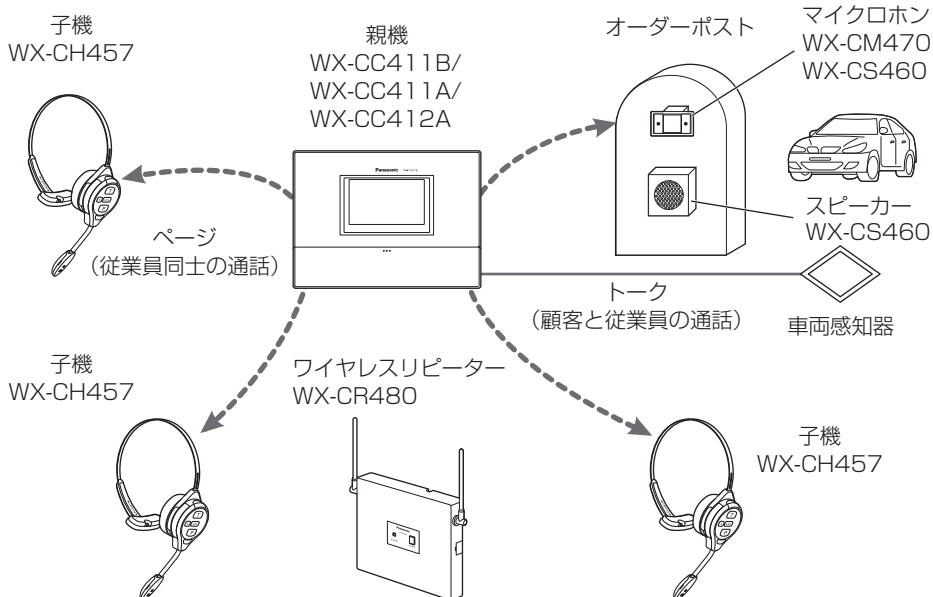
■ 商品概要

オールインワンヘッドセット（以下本機）WX-CH457はファストフード店のドライブスルーシステム用に設計された、無線通信システムの子機です。本機は、アンテナ、送信機、受信機を内蔵したヘッドセットで、本機を装着することで他の子機を持つ従業員やオーダーポストにいる顧客との通話ができます。

- 本機は、センターモジュール (WX-CC411B、WX-CC411A、WX-CC412A) 専用の子機です。
- 本機では、1.9 GHz帯 DECT* 準拠方式を採用しているため、2.4 GHz以上を使用する電子レンジや無線LANからの干渉を受けません。
※ デジタルコードレス電話の通信規格 (Digital Enhanced Cordless Telecommunicationsの略)
- 本機をセンターモジュール (WX-CC411B) に登録して使用する場合は、オーダーポストの顧客との通話、およびオールインワンヘッドセット間の通話の音声は7 kHzのワイドバンド音声にすることができますので、会話が聴き取りやすくなります。
- マネージャーモード
センターモジュールの各レーンにつき子機1台をマネージャーモードとして登録することができます。マネージャーモードに設定された子機は、通話の優先権を持ちます。
- 顧客がオーダーポストに近づくと、自動的に通信が確立し、顧客との通話を始められます。(オートトークロックモード設定時)
- デュアルレーンシステムでの運用の場合、レーンを切り換えて運用することができます。(WX-CC412Aの場合のみ)
- トークロック、プレストークのモード選択ができます。
- ページロック、プレストークのモード選択ができます。
- 本機からの操作によりセンターモジュールを通して外部にメール通知等を行うことができます。

■ システムイメージ図

本機は、親機であるセンターモジュールと無線接続することで、子機同士、またはオーダーポストにいる顧客との通話ができます。



■ 付属品をご確認ください

保証書.....1式
取扱説明書(本書).....1冊

カラーチップ(黒、赤、青、黄、緑)...各1個
(黒は本体取付済み)
充電電池アタッチメント.....1個

■ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

はじめに

■ 電波について

- 本機は、1,895.616 ~ 1,902.528 MHzの帯域を使用する、デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。

1.9-D

(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

- J-DECTロゴは、DECT Forum の商標です。J-DECTのロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機から充電電池を取り外して、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、システムお客様ご相談センター（裏表紙）へお問い合わせください。

■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- オールインワンヘッドセット (WX-CH457) を本機または子機と表記しています。
- センターモジュール (WX-CC411B、WX-CC411A、WX-CC412A：別売品) をセンターモジュールと表記しています。
- 充電電池パック (WX-SB100：別売品) を充電電池と表記しています。
- 充電器 (WX-Z3040A：別売品) を充電器と表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2024年6月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
システムイメージ図	3
付属品をご確認ください	3
免責について	3
電波について	4
略称について	4
著作権について	4
安全上のご注意	6
取り扱い上のごお願い	8
各部の名前とはたらき	9

基本操作

充電電池の取り付けと取り外し	12
充電電池の取り付け	12
充電電池の取り外し	12
カラーチップの交換方法	13
使いかた	14
電源を入れる	14
装着する	14
音量調節	15
顧客との通話（トーク）	16
他の従業員との通話（ページ）	17
アラート通知	18
デュアルレーン運用 （WX-CC412Aの場合のみ）	19
通話制限	20
通信圏外	20
充電電池	20
電源を切る	20
充電する	21

設定

設定	22
ID登録	22
マネージャーモード設定	23
マネージャーモード解除	25
オートトークロック設定	26
親機サーチ	28
設定モード	29
設定モード起動	30
トークボタン設定（1回点滅）	31
ページボタン設定（2回連続点滅）	31
ボイスプロンプト設定 （3回連続点滅）	31
トーク/ページ自動OFF設定 （5回連続点滅）	32
初期化（6回連続点滅）	32
マイクゲイン設定（8回連続点滅）	32
トークバック設定（9回連続点滅）	33

その他

お手入れ	34
故障かな!?	36
仕様	37
別売品	37
ビープ音一覧	38
保証とアフターサービス	39


安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

危険

 **専用充電器を使用してください**
発熱・発火・破裂の原因となります。

 **充電電池を火へ投入、加熱はしない**
発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止

充電電池にクギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
発熱・発火・破裂の原因となります。

充電電池の (+) と (-) を金属などで接触させない
ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしない
発熱・発火・破裂の原因となります。

充電電池を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
発熱・発火・破裂の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告



禁止

医療機器に近づけない

(手術室、集中治療室、CCU等には持ち込まない)

本機からの電波が医療機器に影響をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



分解禁止

分解・改造しない

感電や発火の原因となります。



注意



お手入れのときは充電池を取り出す

感電の原因となります。

廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない

けがの原因となります。

取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。
- 丁寧に取り扱いってください。本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。

充電池は

- 専用の充電池パック WX-SB100 (別売品) を使用してください。また充電器 WX-Z3040A (別売品) の取扱説明書も確認してください。
- 充電池を充電器で充電する際は、付属の充電池アタッチメントが必要です。詳しくは 21 ページをお読みください。
- 充電池は、日光、火などの過度の熱にさらされることのないようにしてください。
- 取り扱い、保管方法については、充電池の取扱説明書の指示にしたがってください。

埋込み型医用機器を使用されている場合

- 本機を使用しないでください。医療用機器が誤動作を起こす可能性があります。

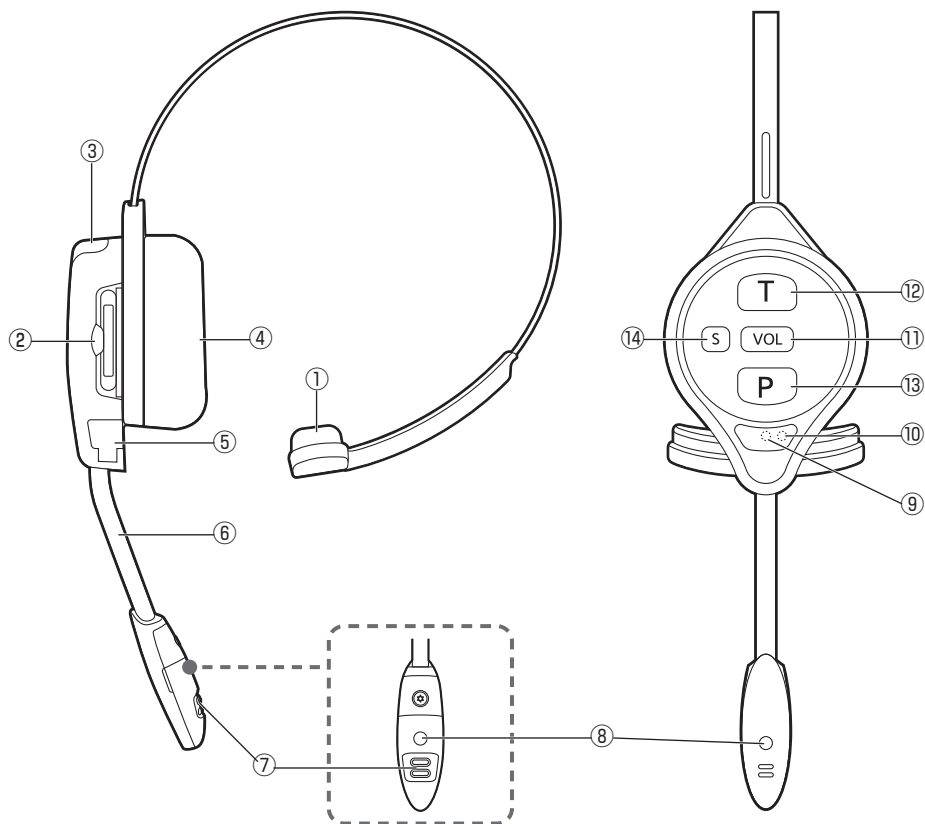
使用しないときは

- 充電池の寿命を節約するために、使用しないときは本機の電源を切ってください。

長期間使用しない場合は

- 充電池をそのままにせず、本機から取り外してください。

各部の名前とはたらき



①ヘッドパッド

ヘッドパッド側をスライドさせて、サイズを調節できます。

②充電機ロック

充電機を取り外すときに、ロックをスライドさせて取り出します。充電機を取り付けるときは、ロックが「カチッ」と音がするまで充電機を押し込みます。

③カラーチップ

付属のカラーチップを付け替えることで、本機の色分けをすることができます。

④イヤーパーッド

耳に当てます。

⑤USBコネクターカバー

保守専用のUSBコネクターが格納されています。

各部の名前とはたらき

⑥ マイクブーム

ブームを回転させて、口元に近い位置に調節します。また、回転させることにより電源の入／切ができます。

⑦ マイク

音声を集音します。

⑧ レーン表示灯

本表示灯により本機が接続しているレーンを表します。

橙点灯：レーンAに接続中

緑点灯：レーンBに接続中（WX-CC412Aの場合のみ）

橙点滅：レーンAで通話中

緑点滅：レーンBで通話中（WX-CC412Aの場合のみ）

⑨ 電源表示灯

本表示灯により本機の状態を以下のように表します。

緑点灯：電源「入」の状態です。

本機には電源スイッチはありません。マイクブームの回転で電源を入／切します。

緑点滅：マネージャーモード設定で、電源「入」の状態です。

赤点灯：充電電池残量がありません。充電済み充電電池と交換してください。

赤点滅：エラーが発生しています。

橙点滅：ID登録中で電源「入」の状態です。

⑩ 設定表示灯

設定時のみ点灯し、設定状態を表します。

⑪ 音量調節ボタン [VOL]

本機の音量を調節します。

ボタンを押すと音量が大きくなります。ボタンを押すごとに「ピッ」と音量アップを知らせるピープ音が鳴ります。また、音量の上限になると「ピピッ」とピープ音が鳴り、さらにボタンを押すと音量の下限に戻ります。

また、音量レベルは本機の電源を切／入すると、初期状態に戻ります。音量調節については、15ページをお読みください。

⑫ トークボタン [T] 

本ボタンは、顧客との通話を制御します。

本ボタンは本機の設定で動作が変わります。詳しくは「トークボタン設定」(31ページ)をお読みください。

<トークロック設定の場合>

[T] ボタンを1度押すと、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができ、再度 [T] ボタンを押すと、通話を終了します。

<プレストウトーク (PTT) 設定の場合>

[T] ボタンを押している間、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

⑬ ページボタン [P] 

本ボタンは、従業員同士の通話を制御します。

本ボタンは本機の設定で動作が変わります。詳しくは「ページボタン設定」(31ページ)をお読みください。

<ページロックモードの場合>

[P] ボタンを1度押すと、接続しているレーンの従業員と通話ができ、再度 [P] ボタンを押すと、通話を終了します。

<プレストウページモード (PTP) の場合>

[P] ボタンを押している間、接続しているレーンの従業員と通話ができます。

⑭ シフトボタン [S] 

本ボタンを押す、または本ボタンと他のボタンを同時に押すことで以下の機能が使用できます。

- レーン切り換え (19ページ)
- アラート通知 (18ページ)
- マネージャーモードの設定／解除 (23～25ページ)
- オートトークロックの設定 (26、27ページ)
- 設定モードの起動やその設定 (29～33ページ)

充電電池の取り付けと取り外し

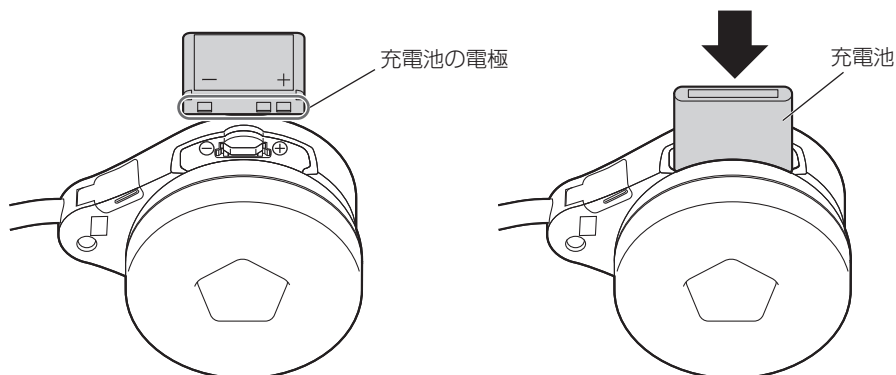
メモ

- 充電電池と充電器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 充電電池はあらかじめ充電しておいてください。

■ 充電電池の取り付け

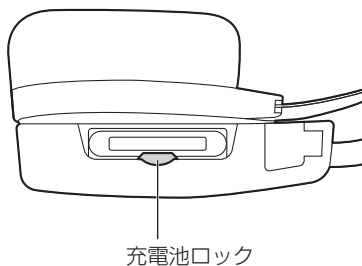
1 下図のように本機に充電電池を挿入します。

- 電池の向きに注意して、電池を挿入します。
- 「カチッ」とロック音がするまで充電電池を押し込みます。



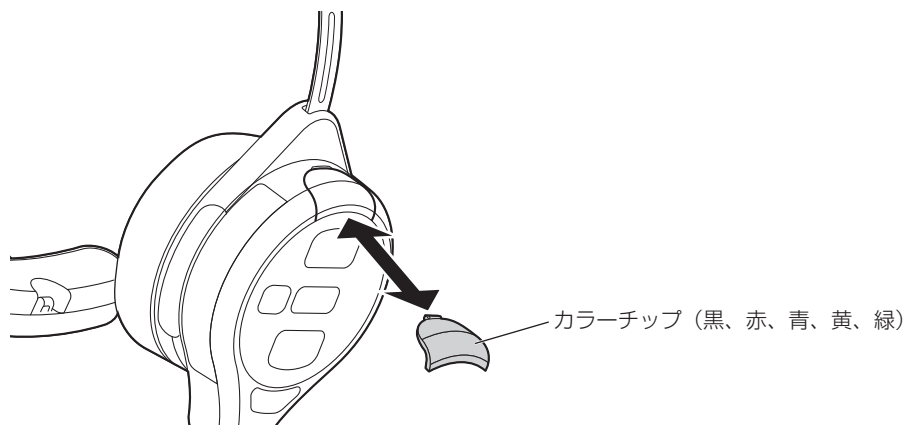
■ 充電電池の取り外し

1 下図のように充電電池ロックを押して、充電電池を取り外します。



カラーチップの交換方法

カラーチップを付け替えて、本機の色分けをすることができます。
下図のようにカラーチップ（付属品）を交換してください。



使いかた

あらかじめ、本機、センターモジュール、オーダーポストなど、システムの各種設定が完了していることを確認してください。

■ 電源を入れる

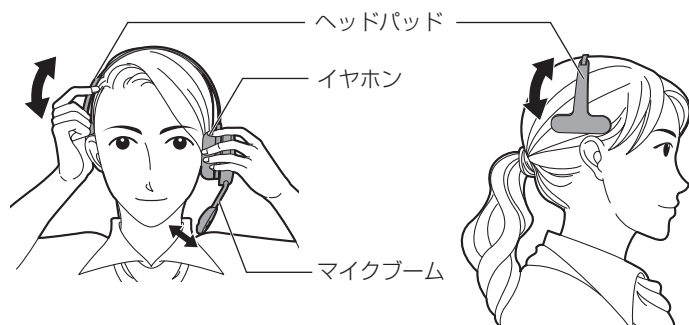
1 本機に充電電池を挿入し、マイクブームを回転させて電源を入れます。

- 電源が起動すると、イヤホンから「Hello」「Headset **」(**はセンターモジュールに登録されたID番号)「レーン○」(○は接続しているレーン名)と音声がかかります。

■ 装着する

1 本機を装着します。

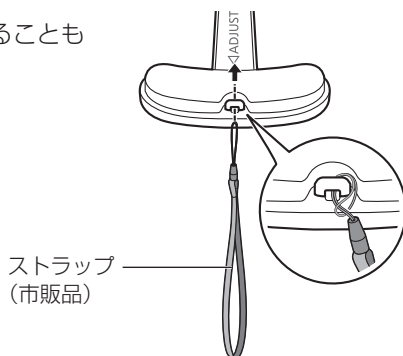
イヤerpッド側を耳に当てて頭に装着してください。
ヘッドパッド側は長さ調節が可能です。



マイクブームを回転させ、マイクブーム先端が口元に近づくように調節してください。

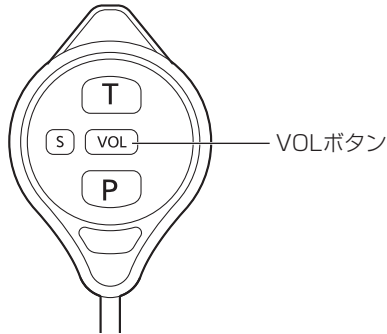
メモ

- 本機にストラップ (市販品) を取り付けることも可能です。

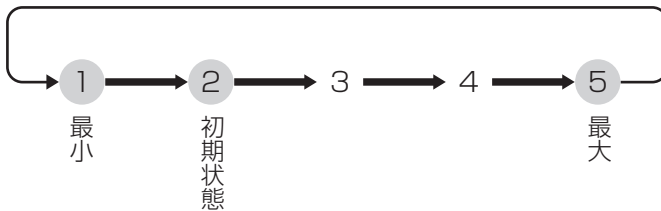


■ 音量調節

[VOL] ボタンを押してイヤホンからの音量を適切なレベルに調節します。



音量レベルは5段階で調節でき、[VOL] ボタンを押すたびに音量が上がり、最大音量を超えると最小音量になります。



メモ

- [VOL] ボタンを押したときにイヤホンから確認音が聞こえます。音量変更時は「ピッ」音、最大音量になった時は「ピピッ」音が鳴ります。
- [VOL] ボタンを押し続けると0.7秒ごとに音量値が変化します。
- 本機の電源を切ると音量設定は初期状態に戻ります。

使いかた

■ 顧客との通話（トーク）

子機を装着している、任意の従業員がオーダーポストに来店している顧客と双方向通話ができます。

- 車がオーダーポストに到着すると、本機のイヤホンより、来客を知らせるビープ音が聞こえます。

トークロックモード時

1 [T] ボタンを押します。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、オーダーポストにいる顧客と通話ができます。

2 再度 [T] ボタンを押します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。

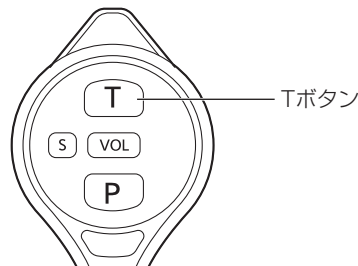
プレス トウ トーク (PTT) モード時

1 [T] ボタンを押し続けます。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、オーダーポストにいる顧客と通話ができます。

2 [T] ボタンを離します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。



メモ

- トークロックモードとプレス トウ トーク (PTT) モードの設定は、設定モードで行います。詳しくは、30、31 ページをお読みください。

■ 他の従業員との通話（ページ）

子機を装着している従業員同士の通話ができます。オーダーポスト側には音声は聞こえません。

ページロックモード時

1 [P] ボタンを押します。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、他の従業員と通話ができます。

2 再度 [P] ボタンを押します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。

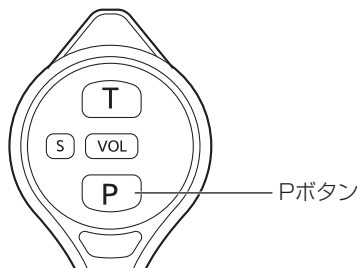
プレス トウ ページ (PTP) モード時

1 [P] ボタンを押し続けます。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、他の従業員と通話ができます。

2 [P] ボタンを離します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。



メモ

- ページロックモードとプレス トウ ページ (PTP) モードの設定は、設定モードで行います。詳しくは、30、31 ページをお読みください。
- トークやページを行っている間は、マイクブームを握らないでください。ハウリングが発生し、オーダーポストなどから異音が出力されます。

使いかた

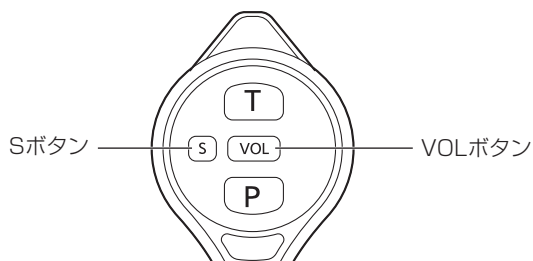
■ アラート通知

子機を装着している従業員は、セキュリティアラートをセンターモジュールに通知することができます。

1 [S] ボタンを押しながら [VOL] ボタンを押します。

- イヤホンより通知完了を知らせるビープ音が聞こえ、センターモジュールへセキュリティアラートを通知します。

2 センターモジュールがセキュリティアラートを受信すると、あらかじめ設定された動作（通話録音、メール通知、アラートメッセージ再生、カメラモニタリングなど）を実行することができます。



■ デュアルレーン運用 (WX-CC412Aの場合のみ)

デュアルレーン運用の場合、本機は通話するレーンを選択する必要があります。

レーンBへの切り換え

レーンAに接続中の本機は、レーン表示灯が橙色に点灯しています。

1 [S] ボタンをダブルクリックします。

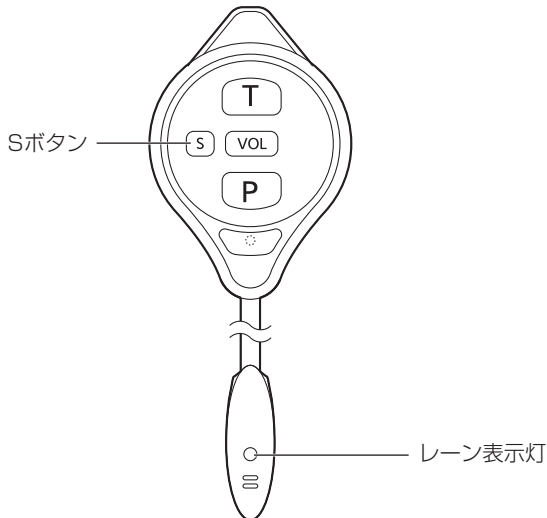
- イヤホンから「レーンB」と聞こえ、レーン表示灯が緑色の点灯になり、レーンBへ接続が切り替わります。

レーンAへの切り換え

レーンBに接続中の本機は、レーン表示灯が緑色に点灯しています。

1 [S] ボタンをダブルクリックします。

- イヤホンから「レーンA」と聞こえ、レーン表示灯が橙色の点灯になり、レーンAへ接続が切り替わります。



使いかた

■ 通話制限

1レーンあたり、同時に通話できる子機は4台までです。
5台目以降の子機がトークまたはページを実行しようとする、イヤホンからビープ音と「Cannot Connect」の音声が聞こえ、通話が拒否されます。
ただし、通話を拒否された子機でも、トークまたはページ中の通話内容を聞くことはできません。

■ 通信圏外

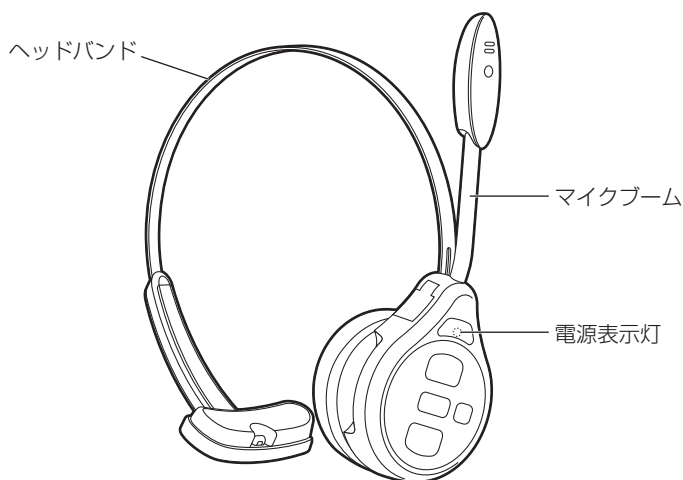
本機を装着した従業員が、通信圏外に移動すると、イヤホンからビープ音と「Out of Range」の音声が聞こえ、通話が遮断されます。
通信圏内に戻るとビープ音が聞こえて、通話が可能になります。

■ 充電池

充電池の残量が少なくなると、イヤホンからビープ音と「Battery Low」の音声が流れ、その後5秒間隔でビープ音が流れます。同時に電源表示灯が赤に点灯します。この状態になったら、すみやかに、充電済みの充電池と交換してください。

■ 電源を切る

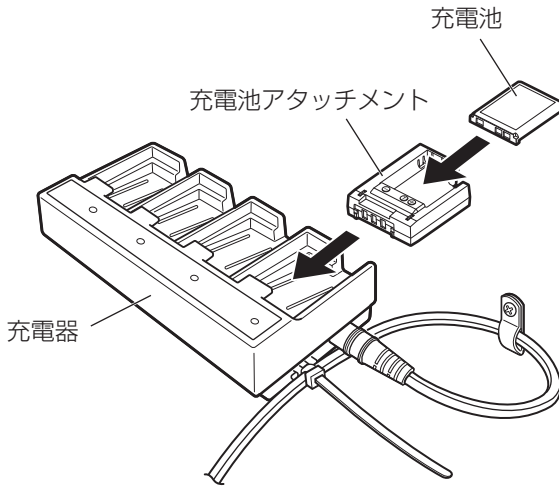
下図のように、マイクブームをヘッドバンドの位置に合わせると電源が切れます。
イヤホンより「Goodbye」の音声が聞こえ、電源表示灯が消灯します。



■ 充電する

付属の充電電池アタッチメントを使用して、充電器で充電してください。
充電時間の目安は約3時間です。(使い切った状態から満充電まで充電した場合) 充電時の表示については、充電器の取扱説明書をお読みください。

下図のように、充電器に充電電池アタッチメント（付属品）を装着した状態で、電極を合わせて充電電池を挿入してください。



設定

■ ID登録

本機を使用するには、センターモジュールに本機のIDを登録する必要があります。センターモジュールにIDを登録することで、本機とセンターモジュール間の無線通信が可能になります。

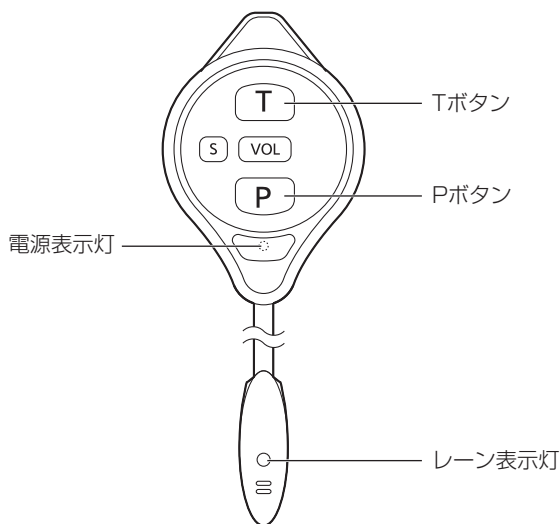
1 センターモジュールを「ID登録」モードに設定します。

詳しくは、センターモジュールの取扱説明書をお読みください。

2 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

3 [T] ボタンと [P] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- イヤホンから「Registration Mode」と音声聞こえてきて、本機は「ID登録」モードで起動します。このとき電源表示灯は橙色に点滅します。



4 [T] ボタンを押します。

- イヤホンから「Connectiong Center Module A」と音声聞こえてきて、レーン表示灯が橙色に点滅します。
- センターモジュールWX-CC412A設置の場合、自動的にレーンBへのID登録が開始され、イヤホンから「Connectiong Center Module B」と音声聞こえてきて、レーン表示灯が緑色に点滅します。
- 数秒後に、イヤホンから「Registration Complete」「Headset **」（**は登録したID番号）と音声聞こえ、電源表示灯が点滅から点灯に変わり、これでID登録が完了です。

メモ

- ID登録に失敗すると、イヤホンからビープ音と「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅します。この場合は、再度手順2からやり直してください。

5 ID登録が完了したら、センターモジュールの「ID登録」モードを解除します。

- 本機の「ID登録」モードが解除され、電源表示灯が緑色の点灯に変わります。

メモ

- センターモジュールが「ID登録」モードの間は子機の通話はできません。

■ マネージャーモード設定

マネージャー設定された子機は、通話の優先権を与えられ、常に、トークやページ中の通話に割り込むことができます。

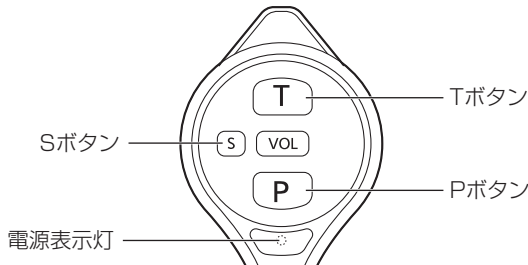
メモ

- 1台の子機のみマネージャーモード設定ができます。マネージャーモードの設定を行うには、ID登録が終了している必要があります。

1 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

2 [S] ボタンと [T] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑に交互点灯します。



設定

- 3** 電源表示灯が赤と緑の交互点灯している間に通話ボタン（[T] ボタンあるいは [P] ボタン）を押します。

レーンAへの設定

- [T] ボタンを押すとレーンAへのマネージャーモード設定を行います。レーン表示灯は橙に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module A」と音声聞こえてきます。

レーンBへの設定（WX-CC412Aの場合のみ）

- [P] ボタンを押すとレーンBへのマネージャーモード設定を行います。レーン表示灯は緑に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module B」と音声聞こえてきます。

- 4** 数秒後にイヤホンから「Manager」と音声聞こえたら、マネージャーモードの設定が完了し、電源表示灯が緑に点滅します。

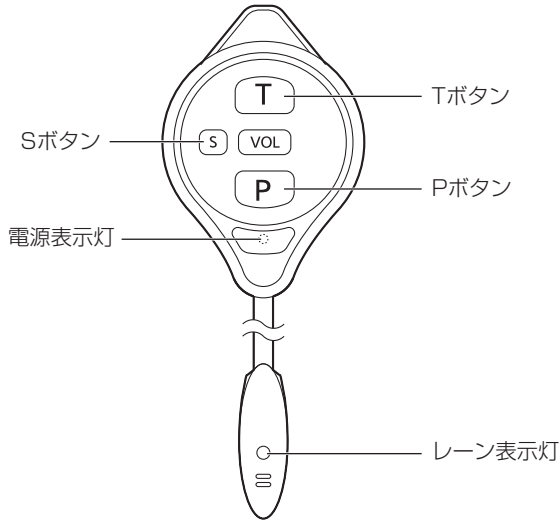
- マネージャーモードの設定に失敗した場合は、イヤホンからビープ音と「Failed」の音声聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態を知らせます。この場合は、再度手順1からやり直してください。

メモ

- マネージャーモードの設定は、1レーンあたり1台の子機しか許可されません。2台目を設定した場合、1台目の子機は、強制的にマネージャーモードを解除されます。

■ マネージャーモード解除

- 1 マネージャーモードに設定されている本機のマイクブームを回転し、電源を切ります。
- 2 [S] ボタンと [T] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。
 - 電源表示灯が赤と緑に交互点灯します。



- 3 電源表示灯が赤と緑の交互点灯している間に通話ボタン（[T] ボタンあるいは [P] ボタン）を押します。

レーンAへの設定解除

- [T] ボタンを押すとレーンAのマネージャーモードを解除します。レーン表示灯は橙に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module A」と音声聞こえてきます。

レーンBへの設定解除（WX-CC412Aの場合のみ）

- [P] ボタンを押すとレーンBのマネージャーモードを解除します。レーン表示灯は緑に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module B」と音声聞こえてきます。

- 4 マネージャーモードが解除されたら、通常の状態になり、電源表示灯は緑に点灯します。
 - マネージャーモードの解除に失敗した場合は、イヤホンからビープ音と「Failed」の音声が聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態を知らせます。この場合は、再度手順1からやり直してください。

設定

■ オートトークロック設定

オートトークロック機能とは、顧客の車がオーダーポストに到着すると、自動的に子機がトーク状態になる機能です。

1つのレーンに1台の子機をオートトークロック設定できます。

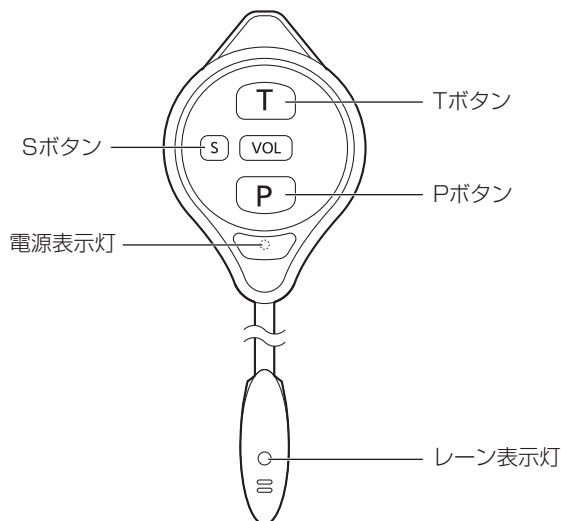
メモ

- オートトークロックの設定を行うには、ID登録が終了している必要があります。

1 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

2 [S] ボタンと [P] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 電源が起動すると、イヤホンから「Hello」「Headset * *」(* *はセンターモジュールに登録されたID番号)「レーン○」(○は接続しているレーン名)と音声聞こえてきます。



3 電源表示灯が緑／赤に交互点灯している3秒以内に、通話ボタン〔T〕ボタンあるいは〔P〕ボタン)を押します。

レーンAへの設定

- 〔T〕ボタンを押すとレーンAへのオートトークロック設定を行います。レーン表示灯は橙に点滅します。登録が完了すると、イヤホンから「Auto Talk Lock ON」と聞こえ、電源表示灯の交互点灯は終了します。
- 本機起動後3秒以内に〔T〕ボタンが押されなかったら、イヤホンから「Auto Talk Lock OFF」と聞こえ、通常子機として起動します。

レーンBへの設定 (WX-CC412Aの場合のみ)

- 〔P〕ボタンを押すとレーンBへのオートトークロック設定を行います。レーン表示灯は緑に点滅します。登録が完了すると、イヤホンから「Auto Talk Lock ON」と聞こえ、電源表示灯の交互点灯は終了します。
- 本機起動後3秒以内に〔P〕ボタンが押されなかったら、イヤホンから「Auto Talk Lock OFF」と聞こえ、通常子機として起動します。
- オートトークロック登録に失敗すると、イヤホンからビープ音と「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態になります。この場合は、再度手順1からやり直してください。

メモ

- オートトークロック設定は、電源が切れると、その設定も解除されます。この機能を使用する場合は、必ず電源起動時にオートトークロック設定を実行してください。マネージャーモードと併用する場合はマネージャーモード設定を行った後にオートトークロック設定を行ってください。
- オートトークロック機能が有効な子機はトークボタンの設定にかかわらず、トークロック設定で動作します。
- オートトークロックの設定は、1レーンあたり1台の子機しか許可されません。2台目を設定した場合、1台目の子機は、強制的にオートトークロック設定が解除されます。

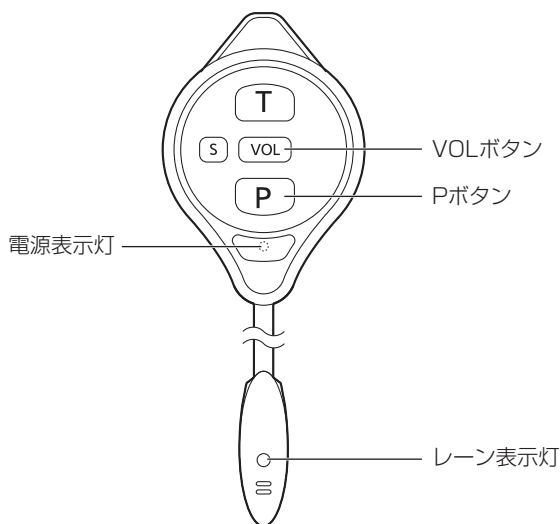
設定

■ 親機サーチ

ID登録済みのセンターモジュールから接続可能なセンターモジュールをサーチします。接続可能なセンターモジュールが見つければそのセンターモジュールに接続します。

- この機能を使用するためには、あらかじめ複数のセンターモジュールにID登録しておく必要があります。

- 1 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。
- 2 [P] ボタンと [VOL] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。
 - 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯が速く橙点滅します。



- 3 接続できるセンターモジュールを見つけたら、電源表示灯が赤／緑の交互点灯をし、レーン表示灯がゆっくり橙点滅します。

- 5秒後、自動的に再起動し、サーチしたセンターモジュールに接続します。

メモ

- 1台の子機につき、30台のセンターモジュールにID登録することができます。30台目以降は最も長い間接続していないセンターモジュールから順番に上書きしていきます。
- 本機のIDが登録されていないセンターモジュールの場合、イヤホンから「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅します。

■ 設定モード

本機の動作設定を行うことができます。設定モードでは以下の設定を行うことができます。

項目	説明
トークボタン設定	トークボタンを押したときのトーク動作について設定します。
ページボタン設定	ページボタンを押したときのページ動作について設定します。
ボイスプロンプト設定	ボイスプロンプトとは、イヤホンから聞こえてくる、本機の状態をユーザーに知らせる音声情報です。ボイスプロンプトで鳴動する音声の設定を切り換えます。
トーク/ページ自動OFF設定	本機の動きを検知し、通話中（トークあるいはページ）のまま本機が放置されたときに自動的に通話を切断する機能です。
初期化	本機を出荷時の状態に初期化します。
マイクゲイン設定	通話時（トークあるいはページ）のマイク音量を設定します。
トークバック設定	トークバックは通話時（トークあるいはページ）に自身のマイク音声を本機のイヤホンへ出力する機能です。

■ トークボタン設定（1回点滅）

トークボタンを押したときのトーク動作について設定します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	トークロック※	[T] ボタンを1度押すと、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができ、再度 [T] ボタンを押すと、通話を終了します。
[P] ボタンを押す	PTT	[T] ボタンを押している間、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

※は出荷時設定

■ ページボタン設定（2回連続点滅）

ページボタンを押したときのページ動作について設定します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	ページロック※	[P] ボタンを1度押すと、接続しているレーンの従業員と通話ができ、再度 [P] ボタンを押すと、通話を終了します。
[P] ボタンを押す	PTP	[P] ボタンを押している間、接続しているレーンの従業員と通話ができます。

※は出荷時設定

■ ボイスプロンプト設定（3回連続点滅）

ボイスプロンプトで鳴動する音声の設定を切り換えます。

ボイスプロンプトは「英語」または「ボイスプロンプトなし」から選択できます。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	英語※	ボイスプロンプトを英語で鳴動します。設定時には「Hello」と鳴動します。
[P] ボタンを押す	ボイスプロンプトなし	ボイスプロンプトは鳴動しません。設定時には何も鳴動しません。

※は出荷時設定

設定

■ トーク/ページ自動OFF設定（5回連続点滅）

自動OFF設定をします。

本機の動きを検知し、通話中（トークあるいはページ）のまま本機が放置されたときに自動的に通話を切断する機能です。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	ON	通話中（トーク、ページ）に10分間本機の動きがなかった場合に通話を切断します。
[P] ボタンを押す	OFF※	自動的に通話（トーク、ページ）を切断しません。

※は出荷時設定

■ 初期化（6回連続点滅）

本機を出荷時の状態に初期化します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタン長押し	—	設定初期化を実行し、本機を再起動します。

重要

- 初期化を実行するとID登録情報も削除されます。

■ マイクゲイン設定（8回連続点滅）

通話時（トークあるいはページ）のマイク音量を設定します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	+6 dB	本機のマイク音量を出荷時の音量から6 dB上げます。
[P] ボタンを押す	OFF※	本機のマイク音量を出荷時の音量に設定します。

※は出荷時設定

■ トークバック設定（9回連続点滅）

トークバックは通話時（トークあるいはページ）に自身のマイク音声を本機のイヤホンへ出力する機能です。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	ON*	通話者自身のマイク音声を本機のイヤホンに出力します。
[P] ボタンを押す	OFF	通話者自身のマイク音声を本機のイヤホンに出力しません。

※は出荷時設定

メモ

- 複数の設定項目を連続して設定することができます。
- 設定は電源の切/入で本機に反映されます。

お手入れ

お手入れは

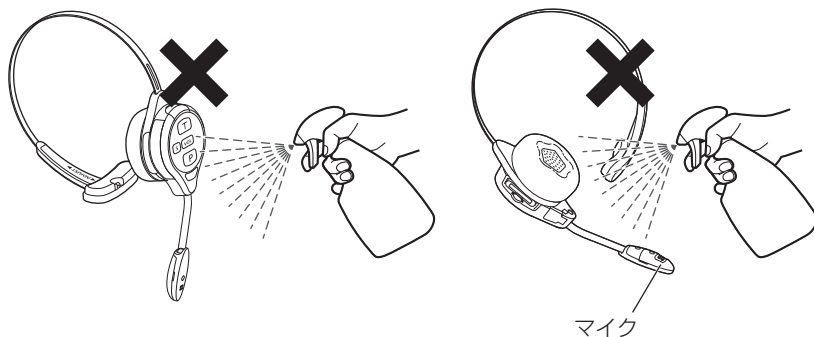
- 充電を取り外してから行ってください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

製品表面の汚れがひどいときは

- 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にしみこませ、固くしぼってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

重要

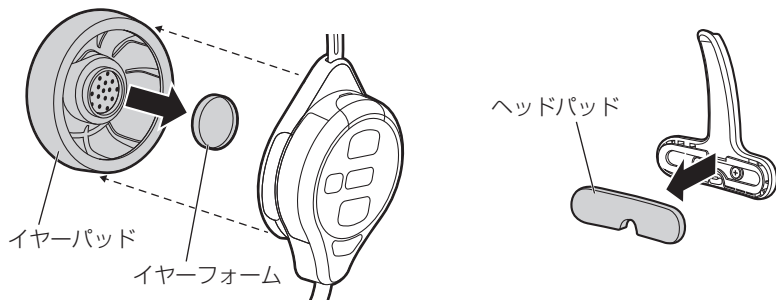
- アルコール、消毒剤、洗剤などをスプレーしないでください。また、マイクを指や布で押して拭かないでください。製品が故障する原因となります。



イヤークッション（イヤークッション）、ヘッドクッションのお手入れ

本機からイヤークッション（イヤークッション）、ヘッドクッションを取り外し、水で薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいて自然乾燥させてからご使用ください。

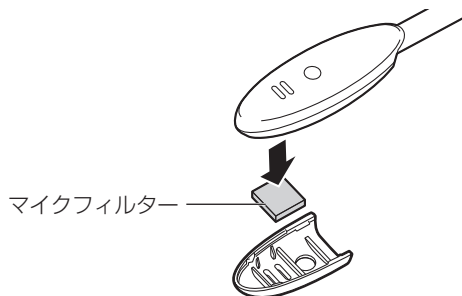
イヤークッション（イヤークッション）、ヘッドクッションは使用状況により劣化するため、定期的に交換することをおすすめします。交換は販売店に依頼してください。



マイクフィルターの交換

マイク部のマイクフィルターは使用状況により劣化するため、定期的に交換することをおすすめします。

交換は販売店に依頼してください。



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源表示灯が赤色点滅している。	● 本機のIDがセンターモジュールに未登録で無線接続できない状態です。 → ID登録をしてください。	P.10、22
電源表示灯が赤色に点灯している。	● 充電電池容量が少なくなっています。 → 充電済みの充電電池に交換してください。	P.10、12
電源が入らない。	● 充電電池の残量がないか、充電電池が正しく挿入されていません。 → 充電済みの充電電池と交換してください。 充電電池を正しく挿入してください。	P.12
	● マイクブームが「切」の位置にありませんか。 → マイクブームを回して、電源を「入」にしてください。	P.14
他の従業員や顧客と通話ができない。	● センターモジュールの電源が切れています。 → センターモジュールの電源を入れてください。現象が継続する場合は、販売店へご連絡ください。	センターモジュールの取扱説明書
	● 本機のIDがセンターモジュールに登録されていません。 → ID登録をしてください。	P.22
	● [S]と[P]ボタンまたは[S]と[T]ボタンが同時に押されて、拡張機能が動作している可能性があります。 → 本機の電源を入れ直してください。	P.14、20
他の従業員との通話ができるが、顧客との通話ができない。	● 車両感知器 (Vehicle detector) が、センターモジュールに接続されていない、車両感知器に電源が供給されていない、または車両感知器が故障している可能性があります。 → 車両感知器に電源が供給され、センターモジュールとも正しく接続されていることを確認してください。現象が継続する場合は、販売店へご連絡ください。	センターモジュールの取扱説明書
特定の場所で「トーク」「ページ」ができない。	● その場所には無線電波が届いていません。 → 電波を遮断する金属製の障害物などがないか確認してください。	---

仕様

使用周波数	1895.616 MHz ~ 1902.528 MHz	
電源	充電式リチウムイオン電池3.7 V DC	
質量	約120 g (充電電池含む)	
使用周囲温度	0 °C ~ +40 °C	
マイク	最大入力レベル	110 dBSPL
イヤホン	出力レベル	96 dBSPL
	最大出力レベル	115 dBSPL以下
	周波数応答	100 Hz ~ 7 kHz
	出力音量制御	-3 dB ~ +9 dB (3 dBステップ)

別売品

本機の別売品として次のものを用意しております。(品番は2024年6月時点のものです)

品名	品番
充電電池パック	WX-SB100
充電器	WX-Z3040A

ビーブ音一覧

本機で使用しているビーブ音一覧です。

分類	内容	ビーブ音 ^{※1}
来客通知	レーンA	ピッ (約2秒周期)
	レーンB	プブッ (約2秒周期)
システム通知 ^{※2}	モード変更 (スピードチーム運用開始など)	プー
メッセージ録音 ^{※2}	メッセージ録音開始	プッ
	メッセージ録音終了	プブッ
	メッセージ録音終了カウントダウン	プッ プッ プッ ピー
通話	通信確立 (トーク開始、ページ開始、アラート通知)	ピッ
	通信終了 (トーク終了、ページ終了)	プブッ
	圏内通知音 (圏外の状態から、センターモジュールと通信可能な状態になった場合)	ピピッ
	通信異常 (トークやページができない場合など)	ププププ
音量調整	音量変更	ピッ
	音量変更 (上限)	ピピッ
その他	異常発生	プー
	充電電池残量警告	プー (約5秒周期)
設定モード	設定モード開始	ピッピッピッピッピッ
	設定確定	ピッ

※1 同じ表現でも、ビーブ音の音程や速さが異なる場合があります。

※2 機能の詳細は、センターモジュールの取扱説明書（設置編、設定編）をお読みください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは「故障かな!？」(36ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	オールインワンヘッドセット
●品番	WX-CH457
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、以下の部品については消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

イヤープッド、ヘッドパッド、イヤーフォーム、マイクフィルター

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分
(土・日・祝日は受付のみ)
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック

エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

PUQX1042YA

Fv0522-1044

Printed in Vietnam